

第七十九回帝國議會
衆議院

民法中改正法律案外一件委員會會議錄(速記)第二回

付託議案
民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第七十七號)
不動產登記法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)(第七十八號)

會議

昭和十七年二月四日(水曜日)午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 野村 嘉六君

理事鹽川 正藏君 理事原 惣兵衛君

理事山本 象吉君

池田七郎兵衛君 池田 清秋君

石坂 繁君 伊禮 肇君

小山田義孝君 高橋 義次君

立川 平君 長井 源君

服部 英明君 馬場 元治君

山本 象吉君 一松 定吉君

出席政府委員左ノ如シ

司法次官 大森 洪太君

司法省民事局長 坂野 千里君

司法省調査部長 齋藤 直一君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

民法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

不動産登記法中改正法律案(政府提出、貴族院送付)

貴族院送付)

○野村委員長 是ヨリ開會致シマス——石坂君

○石坂(繁)委員 昨日古島委員、池田委員カラ、民法中改正法律案ニ付特色々ノ御質疑ガゴザイマシタ、其ノ時ニ問題ニ出ラカ

ツタト思ヒマス點ニ二三、極メテ簡單ニ御尋ネ致シタイト思ヒマス、第一ハ、第八百三十五條ノ三年ノ期間デアリマス、是ハ御說明ノ中ニモ、法制審議會等三年ニスルカ

シマシタ際ニモ、三年說、五年說種々アリ

マシタガ、併シ其ノ經過ヲ申述ベマスト、只今御話ニナリマシタヤウニ、是ハ餘リ長ク致シマスト證據ガ薄弱ニナツテ參リマス、又之ニ乘ジテ言掛リノ訴訟ノ起ルコトヲ惧

レノデアリマシテ、御承知ノ天一坊事件アレハ本當ノコトカドウカ知リマセヌ

ガ、天一坊事件ノ時ニハ、父ト目セラレル人ガ居ツタノデアリマスケレドモ——居

イニモ拘ラズサウ云フ訴訟ヲ起スト云フコトニナリマス、死者ノ名譽ニモ關スル次第デアリマス、デアリマスカラ之ヲ極度ニ

長ク致シマスコトハ極メテ慎マナケレバナラナイト存ジマス、然ラバ三年ガ宜イカ五

年ガ宜イカ、之ニ付テハ非常ニ迷ツタノデアリマスケレドモ、餘リ長クスルコトハ是

ハ警戒ヲ要スルコト云フ立場カラ致シマシテ三年ニ致シタノデアリマス、サウシマス、地方ノ事情等ニ依リマシテハ、三年位ハ直

グ經ツテシマヒハシナイカト云フ懸念モ確カニアリマスケレドモ、此ノ法律デ三年ト

決メマスタラバ、斯様ナ重大事件ハ三年ノ内ニハ何トカシナケレバナラナイト云フ氣風モ自ラ出來テ參リマセウカラ、先ツ之ニ依ツテ進ンデ行キタイ、斯様ニ考ヘタ次第デアリマス

○石坂(繁)委員 其ノ次ノ質疑モ昨日一應御說明ガアツタ問題デアリマスガ、私生子ガ抹消サレニ付テノ戸籍ノ記載ノ訂正ノ問題、是ハ全部職權ヲ以テ戸籍ノ記載ヲ抹消シテ貰フト云フコトガ一番適當デアリマセウガ、ソレハ事實上人手モ足りナイシ出

來ナイ、デアルカラ氣ガ付イタ機會ニ出來ルダケ抹殺スル、サウ云フ風ノ御答辯デアリマシテ、已ムヲ得ナイコトダト存ジマス、而シテ其ノ抹消ヲ求ムルモノノ一番多イノハ、當事者ノ申出ニ依ルコトデアラウト思ヒマスガ、其ノ申出ニ付キマシテノ手續或ハ書類等ニ付テハ、非常ニ細カシイコトデアリマスガ、ドウ云フ風ノコトヲオヤリニナルカ、其ノ邊ノ所マデ決マツテ居リマスレバ伺ヒタイト思ヒマス

○大森政府委員 御說ノ通りニ此ノ抹消ハ成ベク早ク簡便ニヤリタイ積リデアリマシテ、隨ヒマシテ此ノ抹消申請ニ付テハ手續モ何等定メテ居リマセヌ、又費用モ徴收スル積リハアリマセヌ、隨時ノ申出ニ對シマシテ同ジク隨時之ヲ抹消シテ行キタイ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○石坂(繁)委員 其ノ場合ニ一應證據書類ト申シマス、サウ云フヤウナモノヲ添ヘテ申出マスカドウカ

○大森政府委員 實際ニ於テ證據書類ハ全ク入用ハナイト思ヒマス、戸籍ニ既ニ私生子ト書イテ、ソレヲ消シテ吳レト云フダケデアリマスカラ、何等證據書類ノ添付ヲ必要トシナイ積リデ居リマス

○石坂(繁)委員 モウ一ツ伺ヒマスガ、別ニ戴イテ居リマス司法省民事局ノ戸籍ノ記載例デアリマスガ、之ヲ拜見致シマス、私生子ト云フ點ガ全部二本棒ヲ引イテ抹消シテゴザイマシテ、或ル所ハ私生子ヲ子ト訂正シ、子ト訂正スル必要ノナイモノハ唯

私生子ト云フ三文字ヲ棒ヲ引イテ消シテアリマス、本法改正ノ趣旨ハ、私生子ト云フ名前ヲ抹殺シテ今後私生子ト云フコトヲ用ヒナイヤウニ、又世間ニモサウ云フ言葉ヲ用ヒサセズ、又知ラシメナイ、斯ウ云フ趣旨デアリマスガ、今資料トシテ戴イテ居ル記載例ニ依リマス、棒デ以テ消シテアリマスカラ、依然トシテ此ノ謄本ヲ持ツテ行ケバ私生子ト云フコトガ分ルノデアリマシテ、是ハ如何ナモノデアラウカト考ヘマス、デスカラ實際ノ取扱トシテハ、先ツ戸籍ノ原本ニ私生子トアルノヲ抹消サレマシテ、戸籍ノ謄本ニハ抹消サレタ元ノ點ハ記載セズ、新シク訂正サレタ分、即チ三字ヲ消シタ分ハ記載セズ、或ハ子トアル所ハ子ト云フ所ダケ記載スルノデアリマスガ、サウデナケレバイカスト思ヒマスガ……

○大森政府委員 只今御話ノ通りデアリマス、謄本上私生子ト云フ形跡ヲ全ク殘サナイ積リデアリマス

○石坂委員 モウ質問ハゴザイマセス

○野村委員長 一松君

○一松委員 私ハ遅レテ参リマシタノデ、又昨日同僚諸君ノ御質問中ニ退席致シマシタノデ、或ハ既ニ質疑應答ガ済ンデ居ルノカモ存ジマセスガ、其ノ邊ハ一ツ教ヘテ戴クヤウニ御願ヒシマス、サウシテ私ハ此ノ案ニ對シマシテ、司法省ノ各位ニ御禮ヲ申サナケレバナラスノデアリマス、實ハ私ガ代議士ニナリマシテ以來、此ノ私生子ト云フ名稱ハ宜クナイカラト云フコトデ、數回提案ヲ致シマシテ、衆議院モ二回通過シテ、貴族院ニ行ツテ審議未了ニ終ツテ居ツタノデ、甚ダ遺憾ニ思ツテ居リマシタ、今回此ノ時局ニ即應致シマシテ、司法省ガ此

ノ點ニ御着眼ノ上、本案ヲ御提出賜ハリマシタコトハ、洵ニ機宜ニ適シタル處置デアリマシテ、私共國民トシテ感謝ニ堪ヘマセス、又御禮ヲ申上ゲマス、私ハ斯ウ云フ提案ニ對シマシテハ、何等ノ異存ナク、滿幅ノ賛意ヲ表スルノデアリマスガ、唯三點バカリ、少シクドウダカト思フ點ダケヲ質シマシテ、サウシテ賛成ノ意ヲ表シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

先ツ第一ニ認知ノ訴ヲ起スコトノ出來ル期間ガ三年トアルガ、是ハ今……

○野村委員長 其ノ點ハ石坂君ガ今問ヒマシタ

○一松委員 今石坂委員ト大森次官トノ間ニ質問應答ガアツタヤウデアリマスガ、私實ハ此ノ三年ハ長クハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、ソレハナゼ長イカト申シマスト、詰リ斯ウ云フモノハ成ケテ早く訴ヲ提起スルコトニ依ツテ證據ノ保全ガ確實ニ出來ルノデアリマスガ、長ク引張ラレルコトニ依ツテ證據ハ段々湮滅シ、父ノ生キテ居ル間ニ訴ヲ起スト、色々ナ證據ヲ舉ゲテ否認サレル、父ガ死ンデ長クナツテ來ルト證據ハ段々ナクナルシ、父ガ反證ヲ舉ゲヨウト思ツテ居ツタガ、認證モ段々ナクナツテシマフト云フコトニ依ツテ、書面等ヲ根據ニシテ訴ヲ起ス、檢事ハ、ソレニマサカ胡麻化サレルト云フコトハナイデセウガ、往々ニシテ誤ツテ、本當ノ子デナイ者ガ子デアルヤウニサレルコトナキニシモアラズト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ人事訴訟手續法ノ第二十九條ニ、所謂一年內ニ之ヲ提起スルコトヲ要スト云フ規定ガアル、此ノ規定ノ趣旨モ恐ラク今私ガ申上ゲマスヤウナ趣旨デアツテ、此ノ期間

ヲ一年ト限ツタコトデアラウト思フノデアリマス

〔委員長退席、原委員長代理着席〕

ソレハ斯ウ云フモノモ三年トシテハ餘リ長イカラシテ、一年或ハ二年ト云フ位ニ短縮シテヤツタ方が非常ニ宜イノデハナカラウカ、ソレヲ長イ間、十年モ二十年モシテ本當親デアルコトヲ認知シヨウト思ツテモ、色々ナ證據關係ヲ認知サレナイヤウニ手控ヘシテ居ルヤウナ者ガアル、ソレガ今度、死ヌレバ直グニ色々ナ工作ヲシテ、サウシテ三年ノ期間內ニ訴ヘラ起スト云フコトニナツテ來ルト、却テ複雑混淆ナラシメル虞ハナイカ、實ハ私ハ之ヲ心配シテ居ルノデアリマス、其ノ點ニ付テハ、二十九條トノ振合ヒ等モ御考慮ニ入レテ此ノ數ハ御決メニナツタノデセウカ、若シクハ、今私ガ申上ゲルヤウナコトヲスルヨリモ、ヤハリ三年ト云フコトガ最も適當デアルト云フ、他ニ特別ナ根據デモアレバソレヲ御示シ願ヒタイト思ヒマス

○大森政府委員 先ツ劈頭私共ニ對シテ御懇篤ナル御言葉ヲ頂戴致シマシテ、深ク感謝スル次第デアリマス、第八百三十五條ノ三年ニ付テ長短種々ノ御意見ガアルダラウト思フノデアリマス、ガ併シ、餘リニ之ヲ短ク致シマスルト、折角此ノ途ヲ拓キマシタ實益ヲ没却スル譯デアリマス、勿論御指摘ニ相成リマシタ人事訴訟手續法第二十九條トノ權衡モ具サニ研究致シタノデアリマス、御承知ノヤウニ人事訴訟手續法第二十九條ノ關係ハ、訴訟當事者ノ間ハ限定サレテ居ル譯デアリマシテ、此ノ認知ノ問題ヨリハ少シク内容ハ具體的ニナツテ居ル譯デアリマス、ソレト此ノ認知ノ訴ヘトハ同

様ニハ行カナイノデアリマスルガ、一方ニ於テ一年ト云フ限定ガアリマスルカラ、此ノ一年ト云フ限定ヲ考慮シツツ、ココハ三年ガ宜カラウ、斯様ニ考ヘタ譯デアリマシテ、大イニ此ノ第二十九條ノ規定ヲ參酌シタ次第デアリマス、尙ホ只今御指摘ニ相成リマシタ三年ト云フ期間ハ長キニ過ギルノデアツテ、其ノ間色々證據ヲ捏造等モアリハシナイカト云フ御懸念デアリマシタ、御尤モニ存ズル次第デアリマス、是ハ併シ、勿論人事訴訟デアリマスルカラ、職權調査ノ範圍內ニ屬スルコトデアリマスシ、コト人事ニ關スルコトデアリマスルカラ、裁判トシテハ慎重ノ上ニモ慎重ヲ期スベキコト固ヨリデアリマシテ、ソレ等ノ點ニ付テハ係官ニ於テモ十分ノ努力ハスル積リデアリマス、右御諒承ヲ願ヒタイノデアリマス

○一松委員 司法省ノ堪能ノ諸君ガ御集マリノ上デ御研究ニナツタコトデアリマスカラ、御手拔カリハナカラウト思ツテ居ツタノデアリマスガ、只今ノ御説明ヲ承リマシテ、サウ云フ事情デアレバ已ムヲ得ナイト考ヘタノデアリマスガ、ドウゾ、誤ツテ檢事ガ、所謂證據十分デナイモノニ贊成ヲシテ、サウシテ認知ノ目的ヲ達セラルコトノナイヤニ、十分ニ一ツ御訓示ヲ賜ハツテ置キタイコトヲ熱望シテ置キマス

アト二點ノ中ノ一點ハ、此ノ所謂私生子ト云フ文字ヲ抹殺スルコトデアリマスガ、昨日次官ノ御話ニ依リマシテ、一時ニ抹殺ノ手續ヲスルコトハ理想デアアルケレドモ、ソレハ費用、人繰其ノ他ノ模様デ出來ナイカラ、發見次第ニヤルト云フコトハ最も機宜ニ適シタ處置デアラウト思フノデアリマスガ、特ニ私ハ此ノ法文ノ附則カ何處カニ

○大森政府委員 只今御話ノ通りデアリマス、謄本上私生子ト云フ形跡ヲ全ク殘サナイ積リデアリマス

○石坂委員 モウ質問ハゴザイマセス

○野村委員長 一松君

○一松委員 私ハ遅レテ参リマシタノデ、又昨日同僚諸君ノ御質問中ニ退席致シマシタノデ、或ハ既ニ質疑應答ガ済ンデ居ルノカモ存ジマセスガ、其ノ邊ハ一ツ教ヘテ戴クヤウニ御願ヒシマス、サウシテ私ハ此ノ案ニ對シマシテ、司法省ノ各位ニ御禮ヲ申サナケレバナラスノデアリマス、實ハ私ガ代議士ニナリマシテ以來、此ノ私生子ト云フ名稱ハ宜クナイカラト云フコトデ、數回提案ヲ致シマシテ、衆議院モ二回通過シテ、貴族院ニ行ツテ審議未了ニ終ツテ居ツタノデ、甚ダ遺憾ニ思ツテ居リマシタ、今回此ノ時局ニ即應致シマシテ、司法省ガ此

ノ點ニ御着眼ノ上、本案ヲ御提出賜ハリマシタコトハ、洵ニ機宜ニ適シタル處置デアリマシテ、私共國民トシテ感謝ニ堪ヘマセス、又御禮ヲ申上ゲマス、私ハ斯ウ云フ提案ニ對シマシテハ、何等ノ異存ナク、滿幅ノ賛意ヲ表スルノデアリマスガ、唯三點バカリ、少シクドウダカト思フ點ダケヲ質シマシテ、サウシテ賛成ノ意ヲ表シタイト考ヘテ居ルノデアリマス

先ツ第一ニ認知ノ訴ヲ起スコトノ出來ル期間ガ三年トアルガ、是ハ今……

○野村委員長 其ノ點ハ石坂君ガ今問ヒマシタ

○一松委員 今石坂委員ト大森次官トノ間ニ質問應答ガアツタヤウデアリマスガ、私實ハ此ノ三年ハ長クハナイカト思ツテ居ルノデアリマス、ソレハナゼ長イカト申シマスト、詰リ斯ウ云フモノハ成ケテ早く訴ヲ提起スルコトニ依ツテ證據ノ保全ガ確實ニ出來ルノデアリマスガ、長ク引張ラレルコトニ依ツテ證據ハ段々湮滅シ、父ノ生キテ居ル間ニ訴ヲ起スト、色々ナ證據ヲ舉ゲテ否認サレル、父ガ死ンデ長クナツテ來ルト證據ハ段々ナクナルシ、父ガ反證ヲ舉ゲヨウト思ツテ居ツタガ、認證モ段々ナクナツテシマフト云フコトニ依ツテ、書面等ヲ根據ニシテ訴ヲ起ス、檢事ハ、ソレニマサカ胡麻化サレルト云フコトハナイデセウガ、往々ニシテ誤ツテ、本當ノ子デナイ者ガ子デアルヤウニサレルコトナキニシモアラズト考ヘルノデアリマス、此ノ點ニ付キマシテハ人事訴訟手續法ノ第二十九條ニ、所謂一年內ニ之ヲ提起スルコトヲ要スト云フ規定ガアル、此ノ規定ノ趣旨モ恐ラク今私ガ申上ゲマスヤウナ趣旨デアツテ、此ノ期間

○大森政府委員 先ツ劈頭私共ニ對シテ御懇篤ナル御言葉ヲ頂戴致シマシテ、深ク感謝スル次第デアリマス、第八百三十五條ノ三年ニ付テ長短種々ノ御意見ガアルダラウト思フノデアリマス、ガ併シ、餘リニ之ヲ短ク致シマスルト、折角此ノ途ヲ拓キマシタ實益ヲ没却スル譯デアリマス、勿論御指摘ニ相成リマシタ人事訴訟手續法第二十九條トノ權衡モ具サニ研究致シタノデアリマス、御承知ノヤウニ人事訴訟手續法第二十九條ノ關係ハ、訴訟當事者ノ間ハ限定サレテ居ル譯デアリマシテ、此ノ認知ノ問題ヨリハ少シク内容ハ具體的ニナツテ居ル譯デアリマス、ソレト此ノ認知ノ訴ヘトハ同

サウ云フヤウナ趣旨ノコトヲ書イテ、昨日他ノ議員カラ色々質問アリマシタヤウニ、之ヲ雇トカ、或ハ主任書記ノ承諾ヲ得ヌデヤルト云フヤウナコトガ自由ニ出來ルヤウニ、法文文明文化シテ置イタ方宜クハナイカト實ハ思ツタノデスガ、サウ云フヤウナコトハシテナイケレドモ、大森次官竝ニ民事局長ノ御話ニ依リマス、手落ナクヤル、而モ只今石坂委員ノ質問ニ對シテ御答ヘガアリマシタヤウニ、私生子ト云フヤウナ抹消シタ文字ハ絶對ニ現ハサナイヤウニスルト云フ、何處マデモ親心ノアルコトニ私ハ感謝致シマシテ、其ノ點ニ付テハ唯御參考マデニ卑見ヲ申上ゲテ置キマス

次ニ御尋ネシタイコトハ、是ハ少シ御考慮ヲ願ヒタイと思フノデアリマスガ、戸籍ノ記載例デアリマス、之ニ唯子トシテアリマスガ、是ハ乙山櫻子ニ男子ガ三人モアル、或ハ女子ガ二人モアルト云フヤウナ時ニハ、私ガ平素主張シタヤウニ、忠之助ニ櫻子長男、愛子ニハ櫻子長女、孝之助ニハ櫻子次男、愛子ノ妹ノ梅子ニハ櫻子次女、斯ウ云フヤウナ風ニ書イタ方宜イノデハナイデセウカ、唯之ヲ子、子トスルヨリモ、サウスルト、忠之助ハ自分ハ櫻子ノ長男デアアル、孝之助ハ自分ハ櫻子ノ次男デアアルト云フヤウナコトガ戸籍ノ上ニモ分ルシ、自分等ノ續柄等モ分ルヤウニ思ヒマスガ、サウ云フ點ニ付テハヤハリサウセズシテ、皆櫻子ノ子、子ト全部シテシマフノデアリマセウカ、ドウデセウカ、其ノ點ノ御研究ヲ願ツタノデアリマセウカ、ドウデセウカ、此ノ點ヲ承ツテ見タイと思ヒマス

○坂野政府委員 只今ノ御尋ネデゴザイマスガ、此ノ長男トカ次男トカ云フ關係ハ、

嫡出子ノ關係ヲ明カニスル爲ニ記載例ヲ致シタノデアリマス、是カラ後ニ、若シ此ノ櫻子ニ嫡出子ガ出來マシタ場合ニ、ソレガ長男、斯ウ云フコトニナツテ、忠之助、愛子ハヤハリ子トシテ殘ル譯デアリマス、斯ウスルト、ドウモ頭隠シテ尻隠サズノ形ニナルノデヤナイカト云フコトニナルノデアリマスガ、ドウモ相續順位等ニ嫡出子ト私生子トノ間デ差ガアル、要スルニ婚姻尊重ト云フ考ヘ方カラ、其ノ差ヲ設ケルト致シマスレバ、ヤハリサウ云フヤウナ記載ハ免レラレナイノデヤナイカ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○一松委員 能ク分リマシタガ、併シソレハ櫻子ガ結婚シタ時分ニハ櫻子ト松男トノ間ニ出來タ子ダト云フコトガ分ルノデスカラ、櫻子ト松男ノ間ニ出來タ長男デアリ、次女デアルト云フコトニ記載ガ出來ルシ、唯櫻子ノ長男ト云フ場合ニハ是ハ庶子、私生子デアルト云フコトガ、直グ分ルノデスカラ、サウ云フ風ニシタ方宜イト思フノデスガ、併シ今坂野局長ノ御話モ一理アルト思フノデスガ、是ハ併シ記載例デアリマスカラ、司法省ノ方デ御研究ノ結果、ソレガ宜イト云フコトデ、サウ云フヤウナ訓示モ出來ルノデハナイカト思フノデスガ、ソレハ如何デセウカ

○坂野政府委員 是ハ記載例ニ付テハ相當研究致シマシテ、若シ御意見ノヤウニシテ宜イト云フコトノ結論ヲ得マスレバ、是ハ訓令モ出來ルコトデアリマス

○一松委員 私モウ是レ以上ハ質問ゴザイマセス、大變良イ改正案デゴザイマスルカラ、何レ又最後ノ決ノ時ニハ意見ヲ述ベマ

スガ、速カニ通過セラレンコトヲ希望致シマシテ私ノ質問ヲ終リマス

○服部(英)委員 私ハ質問ヲ致シマセスト申上ゲマシタガ、一ツ御許シテ御願ヒ致シマス、一ツハ戸籍ニ關スル形式デアリマスガ、戸籍謄本ニ只今ノ父ノ分ラザル場合ニハ空欄ニナツテ居ル、分ラナイカラ空欄デアアル、是ハ當然ノコトデアリマス、斯ウ云フ空欄ニナツテ居ルノガ今マデ形式上戸籍ニアリマシタカ、ドウデスカ、斯ウ云フ實例ハアツタノカナイノカ、ソレヲ一ツ承ツテ置キタイ

○坂野政府委員 アリマス

○服部(英)委員 ソレハ戸籍ノ上カラ其ノ人ノ子ト云フモノハヤハリ前ニハ空欄ガアツテ私生子トナツテ居ツタノデスカ

○坂野政府委員 其ノ通りデゴザイマス

○服部(英)委員 ソレト直接關係ハナイカドウカ存ジマセスガ、大變支障ヲ感ジテ居ルノデアリマスカラ、一ツ御當局ニ御伺ヒ致シテ置キタイノデアリマスガ、被相續人ガ獨リ者デアリマシテ、其ノ被相續人ガ相續人ヲ立テザルト云フ意思ヲ以テ自己ノ所有シテ居ル財産全部ヲ或ル公共團體ニ寄附シテ亡クナツタ場合ニ、其ノ死後相當ノ時日モ經過シタノデアアルガ、其ノ親族ノ者ハアノ財産ヲ澤山公共事業ニ寄附シタガ、洵ニ惜シイ、アノ三分ノ一ナリ半分ナリヲ取戻シタイト云フ意思ヲ以テ、親族會ヲ開イテ——其ノ親族會ハ裁判所ノ決定ニ依ツテ成規ノ親族會ヲ開イテ、サウシテ相續人ヲ選定ヲ致シテ、戸籍役場ニ届出マスト、戸籍役場ハソレヲ無條件デ相續人ニ登録スルコトニナツテ居ルヤウデアリマス、サウシテ其ノ相續人ガ出來マスルト、何レ其ノ相

續人ノ後見人ナリ法定代理人或ハ本人ガ、被相續人ガ全部ノ財産ヲ處分シタノハ相續人ノ權利ヲ侵害シタモノダカラ元ヘ戻シテ呉レ、斯ウ云フ主張ヲナス場合ニ、公共團體ニ於テハ既ニ其ノ金ハ國庫ナリ或ハ村ノ費用ニ入レテシマツテ戻ス金ハナイト云フコトデ、紛擾ヲ生ズル實例ニ遭遇致シテ居ルノデアリマスガ、其ノ場合ニ親族會ニ對シテ斯様ナル獨リ者ガ何等相續人ヲ指定セズニ亡クナツタ後ニ於テ、親族會員ガ親族會ヲ召集シテ相續人ヲ選定スル場合ニ於テ、利害關係人ニ其ノ親族會ヲ召集シテ相續人ヲ立テルト云フコトヲ通知スルカ、少クトモ新聞ニ廣告ヲシテ、利害關係人ハ意見ガアレバ申出ロ、斯ウ云フ手續ガアレバ、サウ云フ不都合ハ除カレルノデアリマスガ、サウ云フ手續ハナイヤウニ思ツテ居リマスルガ、其ノ場合ニ御當局ハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ

○坂野政府委員 只今ノ御尋ネノ點デアリマスガ、親族會ノ招集ガアリマシテ家督相續人ヲ選定致サレマスト、今仰シヤツタヤウニ遺留分ノ減殺ガ出來ル譯デアリマス、併シナガラ其ノ遺留分ノ減殺ハ是ハ相續開始前一年マデノ贈與デ、ソレヨリ遡ル贈與ハ減殺ハ出來ナイ、斯ウ云フコトニナツテ居リマス、其ノアトノモノニ付キマシテハ要スルニ一度出來タ以上保存シヨウ、斯ウ云フ民法ノ考ヘ方カラ、ヤハリ相續人ガ出來ルト云フコトヲ望マシイト云フ考ヘ方ヲ致シテ居ル譯デアリマス、サウシテ又出來レバ其ノ相續人ガ妻子ヲ養フニ足ルダケノ財産ハ保留シタイ、ソレハ相續分トシテ殘サウ、斯ウ云フ立場ヲ執ツテ居リマスノデ、其ノ際ニハ一年ヲ過ギタモノナラバ致シ方

ガナイガ、一年以内ノ贈與ニ付テハヤハリ減殺ガ出來ル、斯ウ云フ考ヘヲ致シテ居ル譯デアリマス、是ハ今ノ民法ノ考ヘ方デアリマス

○服部(英)委員 其ノ御考ヘ方ハ通常ノ場合ニ於テ日本ノ家族制度ヲ執ツテ居ル趣旨ノ上カラ鑑ミテ適當デアルト承知致シマスガ、其ノ場合ニ違ツタ斯ウ云フ場合ガアル、被相續人ガ自己ノ相續人ハモウ作ラナイト云フ意思ノ下ニ財産ノ處分ヲナシ終ツテ亡クナツテ、而モ亡クナル前ニ一年以内ニ處分シタ、斯ウ云フ相續人ヲ設ケザルト云フ、例ヘバ或ル將軍ノ如キ子孫ニハ相續人ハ作ラナイ、斯ウ云フ意思ヲ持ツテ居ラレタコトガ明カニナツタ場合ニ於テモ、尙ホ家族制度ノサウ云フ趣旨ヲ認メル必要ガアルカ、ソレニ對スル御當局ノ御考ヘハドウデアリマスカ、言ハバ被相續人ノ意思ニ背イテマデモソレヲナスベキ御當局ノ御趣意デアルカ、伺ヒタイ

○大森政府委員 具體的ノ事例ニ付テノ御答ヘハ御速慮ヲシタイノデアリマスルガ、今ノ御趣旨ニ於キマシテ親族會ノ決議ガ不當デアツテ、内容的ニ實質的ニ不當デアルト云フ場合デアラウト思フノデアリマス、之ヲ攻撃シマスルノニハ御承知ノヤウニ現行法ハ第九百五十一條ニ不服ノ訴ニ付テノ規定ガアリマス、唯此ノ不服ノ訴ノ規定ガ今日稍、狹キニ失スルト云フ非難ハ確ニアルノデアリマス、是ハ民法ノ改正ニ於キマシテ相當此ノ點ニ考慮ヲ拂ヒタイト思ツテ居リマス、御質疑ノ點デ其ノ點ダケハ今申述ベテ置ク次第デアリマス

○服部(英)委員 其ノ問題ニ於テ、若シ被相續人ガ相續人ヲ作ラザルベキコトノ意思

ガアツタト云フコトガ證明セラレテ、而モ財産ヲ受領致シタル公共團體ナラ公共團體ガ、左様ナル證明ガ出來タ場合ニ於テモ、尙ホ其ノ公共團體ガ其ノ遺留分ニ付テ制裁ヲ受ケナケレバナラスト、少シク被相續人ノ意思ニ適ハナイト云フ形ニナリハシナイカ、サウ云フ場合ヲ具體的ニ考ヘマシタラ、如何ニ御處置ヲセラルルノデアリマスカ、相續人ヲ作ラザル意思ヲ明瞭ニシテ、公共團體ナラバ公共團體ニ贈與シタ場合、ソレデモ尙ホ遺留分ノ相續人ノ權利ヲ認メルカ、親族會ガ不純ナ考ヘヲ以テ相續人ヲ選定シタル場合ニ於テハ、其ノ申出ガアツタル場合ニハ云々ト云フ只今ノ政府御當局ノ御趣意ハ能ク分リマシタケレドモ、相續人ノ方デハ證明ハ出來ナクテモ、全部ノ財産ヲ贈與シタト云フコトハ甚ダ惜シイ、本人タル被相續人ハ相續人ヲ作ラザルコトヲ常ニ言ツテ居ツタケレドモ、ドウモ全部ヲ死シタトデ取ラレテシマフト云フコトハ親類ノ者ニ於テ惜シイカラ、一ツ取戻シテ相續人ヲ作ラウ、斯ウ云フ證明ハ出來マセヌガ、意思ハ無論サウ云フ意思ノ場合デアラウト思ヒマス、其ノ場合ニ於テノ御處置ハドウ云フ風ニ御考ヘデアリマスカ

○大森政府委員 稍、具體的ノ事例ニ近イヤデアリマスルカラ、ソレニ對シテ如何ナル裁判ヲナスベキカト云フ御答ヘハ御速慮ヲシタイト存ズルノデアリマス、唯先程私ノ申述ベマシタノハ親族會ノ決議ガ内容的ニ不當デアリマシタ場合、之ヲ攻撃シマスル現行法ノ規定ガ稍、狹キニ失シテ居リマスカラ、之ニ相當ノ餘裕ヲ與ヘテ、即チ此ノ途ヲ擴メルト云フ必要ハ私共認メテ居ルノデアリマシテ、左様ナ親族會ノ決議ガ内容的

ニ惡イ場合、今ヨリモ樂ニ之ヲ攻撃スル途ヲ開クト云フコトニ考ヘヲ及ボスベキデハナイカ、此ノ趣旨ヲ申述ベタ次第デアリマス

○原委員長代理 高橋君

○高橋(義)委員 簡單ニ一、二點御尋ネ致シタイト思ヒマス、第一點ハ私生子ノ名稱ヲ削除スルト云フ根本的ナ考ヘヲ強化シテ參リマスレバ、實ハ一寸前進過ギルカモ知レヌケレドモ、嫡出子ト云フモノノ名稱サヘモ撤廢シテ然ルベキデハナイカト考ヘラレルノデアリマス、ソレマデハ進ミ過ギルト致シマシテ、兎ニ角庶子トソレカラ今回ノ子或ハ男女ト云フコトニナル名稱ト關係ニ於テ、嫡出子トノ對蹠的ニ庶子ナル名稱ヲ撤廢スルコトガドウカ、實質的ニモソレガ妥當デハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス

ソレカラ記載例カラ考ヘテ見マス、或ル男女ハ子或ハ男或ハ女、單ニ斯様ニ記載ヲサレテ居ルノニ對シテ、偶、同様ニ私生子デアリナガラ父ノ認知ヲ受ケタト云フコトダケノ條件ニ依ツテ特ニ庶子ト云フ名前ガ冠セラレル、庶子ト云フ名前ガ冠セラレルコトニ依ツテ私生子デアルト云フコトガ極メテ明瞭ニ看取セラルルコトニナルト思フノデアリマス、寧ロ子或ハ男或ハ女ト云フ方が庶子ト云フ名前ガ冠セラレル方ヨリモ無難ニ此ノ記載例カラモ看テ取ラレルト云フヤウナ、形式上ノ考ヘモアリ得ルト思フノデアリマスガ、御當局ニ於カレテハ何トカ庶子ト云フモノノ名稱ヲ、少クトモ今回改正サレタ子トシテノミ男女トシテノミ、記載例ノ上カラ御取扱ニナル趣旨ヲ一貫シタモノトシテ改メラレル御意思ハナイカ

ドウカ承リタイト思ヒマス

○大森政府委員 御説ノ通りニ嫡出子、庶子、私生子、此ノ三者ヲ一貫シテ一ツノ名前デ以テ表ハスコトガ出來マモルナラバ、是ハ極メテ結構ナコトデ、一視同仁ノ實ヲ擧グルコトガ出來ルト思フノデアリマス、併シナガラ御承知ノ通りニ嫡出子ノ地位、庶子ノ地位、私生子ノ地位、是ガ三者悉ク違フモノデアリマスルカラ、又今日ノ我が國ノ家族制度ノ本質上、此ノ三者ノ地位ハ實質上ハドウシテモ區別ヲシナケレバナラナイデアリマセウカラ、既ニ實質的ニ三者ガ相違シテ居リマスルナラ、名稱ノ上ニ於テモ三者ノ區別ガ何處カニ殘ルト云フコトハ結局已ムヲ得ナイ所デアリマシテ、私共實ハ相當ノ苦心ハ致シタノデアリマス、併シナガラ實質既ニ異ナルモノガアルノデアリマスカラ、形ノ上ニ何處カニ其ノ痕跡ヲ殘スト云フコト洵ニ已ムヲ得ザル次第ダト思フノデアリマシテ、先ヅ今日ノ程度デハ此ノ位デ我慢ヲシテ戴クノ外ハナイカト存ジテ居ル次第デアリマス

○高橋(義)委員 只今ノ法制ノ建前カラ、今次官ノ御述ベニナラレタヤウニ三段階ノ待遇ガアル、其ノ前提カラノ歸結トシテ御尤モノ御所見ト拜聽致シマス、唯ソレヲ現在ノ三段階ヲ二段階ニ先ヅ前提ヲ建直スト云フコトノ下ニ、此ノ子、男、女、ソレカラ庶子ト云フモノトノ間ヲ少クモ一貫シタルモノニナサルコトガ至當デハナイカ、是ハ仰セノヤウナ御趣旨ニ依リマシテ嫡出子ト云フモノニ對シマシテハ、ソコマデ一緒ダト云フコトノ前進シ過ギルト云フコトハ私モ少クモ現在ハ考ヘ得ルノデアリマス、是ハ一寸思ヒ付キデスカラ或ハ誤レバ取消シ

マスガ、何デモ中華民國ノ法制デハ第二章
案マデハ庶子ト云フモノヲ認メテ居ツテ、
第三草案ト成文法トニハ庶子ト云フモノヲ
除イテ居ルト云フコトニ承ツテ居ルノデア
リマスガ、日本ハ中華民國ノ國情ノ異ナル
點カラ致シマシテモ、必ズシモ同一律ト云
フコトノ考ヘ方デハナインデアリマスガ、
少クモサウ云フ法制ガ他國ニアルト云フコ
トノ例モ、一ツノ實例トシテ參考ニナルノ
デハナイカト考ヘラレマス、諄イヤウデス
ケレドモ此ノ點ニ付テノ御所見ハ如何デア
リマスカ

○大森政府委員 只今ノ御意見ハ庶子ト私
生子トノ實質上ノ區別ヲ撤廢スルト云フヤ
ウニ拜承致シタノデアリマス、即チ私生子
ト、認知セラレタル私生子、此ノ間ニ地位ト
シテ何等ノ區別ヲ認メナイ方宜クハナ
カ、斯ウ云フ御意向ノヤウデアリマシタ、
唯私共ハ實ハソコマデハ今ノ程度ニ於テ進
ム考ヘハナインデアリマシテ、ヤハリ認知
ト云フコトニ相當ノ重ミヲ持タシテ、認知
ヲ受ケザル私生子、認知ヲ受ケテシマツタ
私生子、即チ庶子、此ノ間ニ親族法上、相
續法上地位ヲ異ニスルコト、只今デハ當然
デハナイカト思ツテ居ル次第デアリマス、
御意向ハ勿論之ヲ參酌致シテ研究ハ致シマ
セウケレドモ、只今ノ所デハ此ノ二者ヲ同
一ニスル考ヘハ持ツテ居ナインデアリマス、
尙ホ中華民國ノ立法ニ付テデアリマスガ、
私モ此ノ經過ニ付テ詳シイコトハ存ジテ居
リマセス、併シ斯様ナ法制ヲ考ヘマス時ニ、
敢テ中華民國ニ限ラズ、諸外國ノ立法モ參
酌スル必要ガアルノデアリマス、其ノ點ニ
付テハ自分モ出來得ル限りノ努力ヲ致シテ
居ル積リデアリマス

○高橋(義)委員 此ノ點ニ付テハ是レ以上
此處デハ申シマセス、次ニ簡單ニ伺ツテ置
キタイコトハ、此ノ法律ガ通過致シマス
スレバ、施行ノ期日ヲいつ頃ニナサル御積
リカ、例ヘバ他ノ法令ト之ヲ一緒ニ御取扱
ヒニナツテ、施行期日ヲ御決メニナル御方
針カドウカ、實ハ他ノ委員カラモ御話ガア
ツタヤウデアリマスガ、此ノ法律ガ提案ニ
ナツタト云フコトニ付テ、巷ニハ幾多暗黒
ノ社會カラ明朗ナ社會ニ送込マレルト云フ
コトノ、非常ナ輝イタ希望ト嬉シサヲ持ツ
テ居ル者ガ數知レナイノデアリマス、現ニ
私共ノ所ヘモ今回ノ中等學校ノ入學考查ニ
際シテ、何トカ早く此ノ入學考查ニ間ニ合
フヤウニ促進方願ヘナイモノカト云フコ
トスラモ言ウテ參ツテ居ルヤウナ實情デア
リマス、此ノ點ニ付テ此ノ法律ノ提案サレ
タコトニ對シテハ、私ハ非常ナ満足ト、當
局ニ對シテ感謝ノ意ヲ表シテ置キタイと思
ヒマスガ、ソレデ此ノ法律ノ施行期日ハ、
少クモ此ノ法律ダケヲ特段ノ御扱ヒヲ以テ
即行ナサルト云フヤウナ御考ヘハナイモノ
カドウカト云フコトニ付テ一寸伺ツテ置キ
タイと思ヒマス、或ハ若シ御事情ニ依ツテ、
他ノ法律ト同様ニ來年度ト云フヤウナコト
デアリマスナラバ、其ノ間少クモ斯ウシタ
巷ノ實情ヲ參酌セラレテ、經過的ナ何カ御
取扱ノ方法デモ御考ヘガ出來ヌモノカト云
フコトヲ伺ツテ置キタイ

○坂野政府委員 此ノ法律ト致シマシテ
ハ、出來ルダケ早く施行シタイ、斯ウ云フ
コトヲ私共ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、
之ニ牽聯致シマシテ、只今御審議ヲ願ツテ
居リマス恩給法ニ、ヤハリ認知サレタ方ノ
關係ノ一部ガ入ツテ居ルノデ、此ノ關係デ

恩給法ノ施行ガ出來ル期間ト同時ニ施行ヲ
致サナケレバナラスト云フ關係ニナツテ居
リマス、ソコデ恩給局トノ間ニモ色々打合
ハセテ致シテ居ルノデアリマス、恩給局ノ
方デハ、恩給法ハ四月一日カラ施行スルト
云フ御考ヘデ居ツタラシイノデアリマスガ、
其ノ後成タケ早クト云フコトデ、吾々交渉
致シマシテ、只今ノ所デハ、ソレヨリモ早
ク施行ガ出來ルヤウナ運ビニ出來ルノデハ
ナイカト云フ希望ヲ持ツテ居ルノデアリマ
ス、出來ルダケ交渉致シマシテ、若シ是ガ
通過スルコトデアリマスレバ、早く施行シ
タイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○原委員長代理 只今ノ所ハ是デ御質疑ニ
ナル方ハアリマセヌカ

○高橋(義)委員 此ノ際議事進行ニ付テ一
寸申上ゲテ置キタイと思ヒマス、ソレハ少
クモ此ノ民法中改正法律案ダケハ特ニ拔キ
出シテ、議事促進方一ツ考慮ニ入レテ下
サルヤウニ御願ヒ致シタイと思ヒマス、ソ
レダケ議事進行上ノ提案ヲ致シテ置キマス
○原委員長代理 ソレデハ只今ハ御質疑ガ
ナイヤウデスカラ、本日ハ此ノ程度デ止メ
マシテ、次會ハ明日午後一時カラ開會スル
コトト致シマシテ、本日ハ是ニテ散會致シ
マス

午前十一時二十五分散會

昭和十七年二月四日印刷

昭和十七年二月五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局